

- A 話す・聞く力をつけさせる
- B 自分の考えを持たせる
- C 論理的に考えを構築させる
- D 筋道を立てて伝えさせること

	5. 6. 7年		具体的な姿
発達段階	互いの意見を出しあえる時期		
目標	自分の考えを持ち、意見交流ができる		
具体の方法	・仲間の意見の要点をまとめて書ける指導	・聞きながら書く。 ・要点を聞き分ける。	A: メモしながら聞くことができる。 A・C: 自分の考えと相手の考えを区別し書き加えることができる。 A: すばやく見やすく書く事ができる。(視写力・聴写力)
	・主旨に対し疑問・質問をもたせる方法	・自分の考えと比較しながら聞く。 ・より良い方法や考えを理解する。 ・自分の考えを修正したり再構築する。	A: 頷く・分からないことは質問をする・感想を述べるなど反応しながら聞くことができる。 B: 分からない部分について相手からヒントをもらい、自分の考えをもつことができる。 C: 自他の考えを比較し、より説得力のある考えにまとめ直すことができる。
	・論理的な説明の仕方の指導	・自分の考えを分かりやすく丁寧に説明する。 ・根拠を示しながら説明することができる。	A: 声の大きさ、速さ、間のとり方などを意識し話すことができる。 D: ノートやシートなどを相手が見やすいように置き、指で示すなど相手分かりやすい工夫しながら説明することができる。 D: 相手意識をもち、黒板指示棒などを使いながら説明することができる。 D: ノートやシートなどに頼らず、自分の考えを説明することができる。  C: 既習事項や資料、友達の考えをもとに自分の考えをもつことができる。 C: 「つまり・しかし・だから・例えば」等の言葉を適切に使うことができる。 D: 既習事項や資料から分かること、友達の考えやメモなどをもとに説明することができる。  D: 友達が考えたことや方法を代わって説明することができる。 D: 根拠を示しながらつまづいている相手にアドバイスをすることができる。